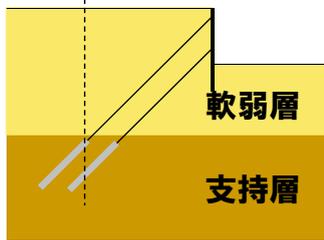


# 拡径型アンカー工法

## 【軟弱地盤用アンカー工法】

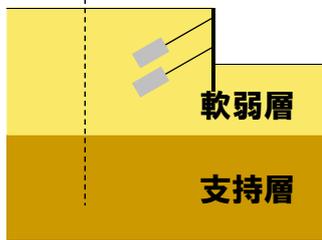
### 技術開発の背景

用地境界



従来のアンカー

用地境界



拡径型アンカー

従来のアンカーと拡径型アンカーの比較

都市部などで堀割道路を建設する場合、山留め壁を構築して支保工としてアンカーを併用します。この際、アンカーを用地内で施工しなければならないため、浅い位置の軟弱な地盤にアンカーを定着する必要があります。このため、軟弱な地盤において大きな引抜き抵抗を発揮するために、地盤内でアンカーの先端部分を拡大させる拡径型アンカー工法を共同研究により開発しました。土木研究所が開発にかかわった工法には次のものがあります。

### 1. スプリッツアンカー工法

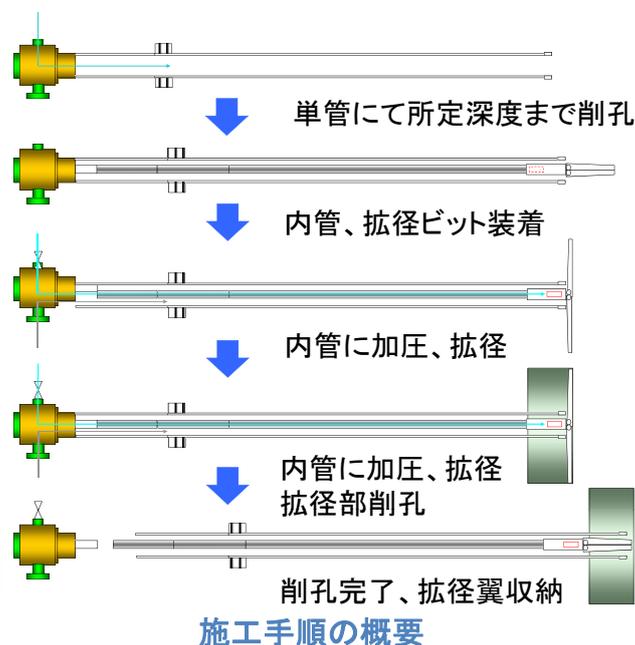
機械拡径方式の拡孔型アンカーです。拡径ビットを開いて空間を形成し、グラウトを注入してアンカー体を造成します。

径の大きなアンカー体の支圧抵抗と摩擦抵抗により大きな引抜き抵抗を得ることが可能です。そのため軟弱な地盤においても定着が可能なアンカー工法です。



スプリッツアンカー用拡径ビット

アンカー体



### 2. CPGアンカー工法

コンパクショングラウティング (CPG) 工法の手法によって地盤中に加圧注入することで構成されるグラウト体と、その奥部に同様の手法によって削孔径 (165mm) 以上の径に膨張させることのできる袋材を有した耐荷体を配置するアンカー工法です。

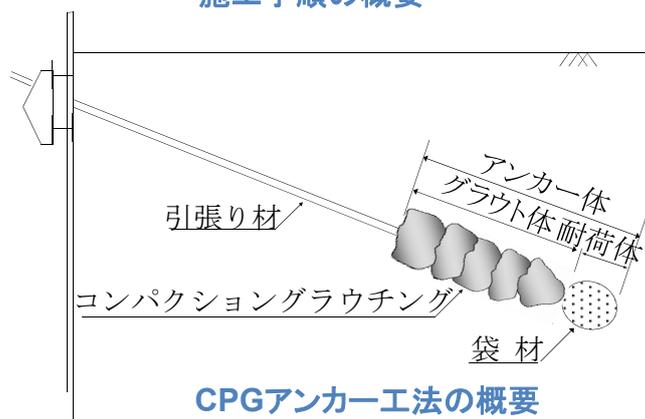
グラウト体により、周辺地盤の摩擦抵抗・支圧抵抗が期待でき、従来に比べて大きな引抜き抵抗が発揮されます。



削孔

アンカー材挿入

グラウト注入



問い合わせ先

独立行政法人 土木研究所  
技術推進本部 施工技術チーム  
Tel. 029-879-6759

スプリッツアンカー

日特建設(株)  
Tel. 03-3542-9298

CPGアンカー

三信建設工業(株) Tel. 03-5825-3707  
大日本土木(株) Tel. 03-5326-3939  
岡三リビック(株) Tel. 03-5442-2400